

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8232
担当部課名	保健福祉部	子育て支援	課	
事務事業名	こどもセンター建設事業		事業コード	13120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	子育て環境づくりの推進	13年度
施策名	第2施策	子育て支援の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事業概要

(1) 事業の目的 こどもセンターを整備することで児童の健全育成活動と子育て環境のより一層の充実を図る。	(2) 対象(誰、何) 児童福祉法第4条に規定される児童及びその保護者、青少年関係団体に属する者等
	対象数
(3) 平成13年度事業の内容 田名こどもセンターを建設した。 所在地 相模原市田名4987番6 施設規模等 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 583.25㎡ 開館日 平成13年11月4日(土) 富士見こどもセンターの建設を推進した。 所在地 相模原市富士見2丁目4番2号 施設規模等 鉄筋コンクリート造2階建て 延床面積 585.11㎡ 開館予定 平成14年7月20日(土) 新磯地区こどもセンターの実施設計を行った。 (商業観光課対応)	(4) 総合計画・実施計画における概要 リーディングプロジェクト のびのび子育て推進プラン こどもセンターの計画的な整備 実施計画 平成14年度目標 20館
	(5) 個別計画の概要
	計画名 相模原市児童厚生施設整備計画
	計画年次 13年度～ 年度
	こどもセンターを青少年の健全育成組織の活動単位である公民館区に1館(計23館)整備する。

4 評価指標

指標名	建設事業の進捗率		
指標式	建設事業の実際の進捗率/建設事業の目標とする進捗率×100		
指標設定の意図	目標に対する達成率の確認		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	-	-	a 100.0	b 100.0	100.0	
指標	-	-	c -	d -	-	
指標	-	-	e -	f -	-	
事業費	決算(予算)額	358,208	170,080	379,190	379,190	137,983
	人員・時間数	(154時間)	(140時間)	(194時間)	(194時間)	(164時間)
	人件費	644	586	811	811	686
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	358,852	170,666	380,001	380,001	138,669
特定財源	310,694	137,522	223,157	223,634	97,609	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 1.0
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
------------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由: こどもセンターは公民館区毎に計23館の設置を計画しているが、13年度には16館目の田名の開設、17館目の富士見の建設推進、18館目の新磯地区の実施設設計(商業観光課対応)を行っている。財政的な制約の中で、当初見込みより設置が遅れる傾向にあるものの、満足できる程度の進捗状況にあり、事業目的を達成していると考えられるため。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由: 女性の社会進出、少子化の進行、都市化の進展等子どもや家庭を取り巻く環境が変化してきているなか、こどもセンターが持つ児童の健全育成と子育て支援の役割が大きく求められている。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 A ▼	A : 妥当である	理由: 地域の子育て支援の拠点として整備しているもので、施設機能の確保と整備費用の観点から妥当と考えている。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由: 設置と運営の主体は、市、社会福祉法人、民法34条に規定される法人に限られるが、管理運営については地域への委託等を模索している。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A : 満足できる	理由: 中高生の利用促進が求められており、開館時間の延長とともに、中高生が興味を持てる施設づくりも必用という市民の声がある。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由: こどもセンターは児童館と児童クラブの機能を有しており、子育てへの支援と子どもが健やかに育つ環境づくりに大きく寄与する施設であると考えている。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	<p>説明: 中高生が興味を持てる施設づくりを検討する必要がある。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	<p>説明: 大幅な事業費の見直しを行っているなかで、中高生の利用促進等新たな機能が求められていることから、コストの削減は難しい。</p>

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	本市では平成13年12月に策定した「相模原市児童厚生施設整備計画」に基づき、児童館の機能を持つ施設を各小学校区に1施設配置することとし、こどもセンターの施設整備を進めているが、県内で児童館の整備を計画的に進めているのは本市と藤沢市のみである。
	今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	説明	相模原市の小学校数 52(平成13年度末現在) 児童館が設置されている小学校区 35 ・こどもセンター 16施設 ・児童館 29施設 児童館が設置されていない小学校区 17
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--